

新病棟オープンに向けて

整備を進めてきた新病棟が完成し、この5月より全面稼働となります。

新病棟は、単に建物が新しくなっただけではありません。医療レベルの充実はいっまでもなく、臓器移植、遺伝子治療など先端医療を担う高度な設備を導入しています。

さらに、患者さんが和むことの出来る医療環境をめざしました。ベッドの周囲は広くなり、ベッド脇には窓があります。また、千葉大学病院のあるいはな山は、草木の多いすばらしい環境ですので、この自然を生かした緑あふれる病院にする計画です。

本院の拡充整備計画は、これで完成ではありません。現在の病棟(既設棟)・母子センター棟の全面的な改修が今年より開始され、さらに外来棟も新たに建設の予定です。新病棟の開院は、将来に向けた第一歩です。



千葉大学医学部附属病院院長 河野陽一

新しい病院に期待します

みなさんが待ちに待った新しい病棟が完成されましたことを、心からお祝い申し上げます。

日進月歩の医学の進歩のなかであって、大学病院が果たすべき高度かつ先端的な医療が、この新しい病棟のすばらしい設備、すばらしい医療スタッフによってさらに展開されていくことを期待しています。

患者さんにとって、この病院が一層安心して、心地よい診療が受けられるよう願っています。

総合大学の中、千葉大学病院を他の部局やセンターの皆さんと一緒に応援したいと思っています。大いなる発展を、心から期待しています。



千葉大学長 齋藤 康



ひがし棟(East Wing)

1面	●千葉大学医学部附属病院 ひがし棟(East Wing) 5月オープン!
2面	●ひがし棟(East Wing) 施設ガイド アメニティ チーム医療 社会ニーズ
3面	●地域がん診療連携拠点病院に指定されました
4面	●<フリートーク>呼吸器外科教授 吉野 一郎 ●<亥鼻むかし> 昔>4

主な内容

信頼の先端医療、快適な療養空間

千葉大学 医学部附属病院 ひがし棟 East Wing

5月オープン!

患者さん、病院関係者が久しく待ち望んでいた千葉大学医学部附属病院の「ひがし棟(East Wing)」がいよいよ竣工し、晴れて5月には新しい入院棟としてオープンします。

この「ひがし棟」の基本コンセプトは、「患者さん中心の医療」「国際標準の病院」「最先端の医療」とともに、高度医療を提供する事です。

建物は、鉄筋コンクリート11階建て、延べ総面積1万3803.6㎡で、現在の病院よりやや大きく、おもに内科系の病棟として使用されます。病院全体の病床数は835床と従来と変わりますが、それは、1人の患者さんの入院空間を今までの2倍に広げたためです。

また、コンビニあり、コピー・シヨップや展望レストランあり、図書室もあり、屋上は救急搬送のためのヘリポートになっています。さらに総合大学として、あらゆる学部と連携し、素晴らしい絵画、彫刻、観葉植物の配置など、従来にはなかった居住空間を誇っています。

今後は母子棟(みなみ棟)、既設棟(にし棟)も改修され、さらに外来棟を大きく拡張する予定です。

F R E E T A L K

<フリートーク>

<信条・趣味>
 ・信条-患者さんの信頼に応える技量と人格を磨く。
 ・趣味-音楽鑑賞(ジャズ、ロック、クラシックなんでもOK)。学生の頃からハンドボールに熱中し全国大会で活躍。
 ・略歴-沖縄生まれ、中学～高校までは熊本で暮らし、九州大学医学部に進む。平成16年同大助教授。この間の2年間、米国ハーバード大学医学部に留学し、腫瘍免疫学を研究。

奥の深い胸部外科治療

私が専門とする呼吸器外科は、肺や気管、気管支など、呼吸に直接関係する臓器だけでなく、頸胸境界領域、縦隔、胸壁、胸膜、横隔膜など、胸部全体を対象としており、もともと多い疾患は、肺がん、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫など、胸部の悪性腫瘍です。

肺は、いっまでもなく生命の維持にきわめて重要な器官です。肺がん患者には、慢性肺疾患(機能低下)を併せて持っている方が多く、また、肺切除は機能の損失を伴うことから、手術の適応と術後管理が大切です。

また、肺がんなどの胸部悪性腫瘍には、内科・外科幅広い医学知識が必要で、化学療法、放射線などトータルな管理が求められる奥

呼吸器外科の可能性を追求し、多くの患者さんの治療に貢献したい

「呼吸器」の道を究めたい
 学生の頃から呼吸器に関心を抱き、「がんの専門医になりたい」と思っていました。九州大学医学部では、念願通り胸部外科の研究者、臨床医としての道を歩み、昨年10月「この道をさらに究めたい」という強い思いを胸に、千葉大学医学部という新天地に転任してまいりました。よろしくお願いたします。



呼吸器外科教授 吉野 一郎

使命は、最良の治療と人材育成

個人の使命としては、一人でも多くの患者さんに安心と信頼の治療を提供すること、医学を志す学生諸君に関しては、国内はもとより、世界の医学の発展に貢献する医師を育てること―だと考えています。

呼吸器疾患で悩む患者さん、どうぞ気軽にご相談ください。また呼吸器外科に関心のある医学生の方、遠慮なく教室の門を叩いてください。呼吸器外科治療の意義や魅力について語り合いたいです。

臨床、教育、研究は三位一体の関係

千葉大医学部の胸部外科学教室は、昭和34年に第一内科内に肺がん研究を目的に発足し、昭和37年に独立。平成13年に「医学研究院胸部外科学教室(附属病院呼吸器外科)」として今日を迎えました。

臨床、教育、研究は、私共医学部に所属する者にとって三位一体の関係です。教室の目標には「病める人に信頼される医療の提供」「今日の医学・医療への貢献」「最先端の呼吸器外科学、胸部腫瘍学、臓器移植学の追及」「明日の医学・医療への貢献」「(3)未来の医療を担う若い人材の育成」「未来の医学・医療への貢献」を掲げており、近い将来、移植・再生医療を大きく展開できる体制を築く決意しております。

トピックス

外来者駐車場の 駐車料金割引方法が変更

駐車料金の割引方法が、2月12日(火)より割引認証システムで行うこととなりましたので、2番窓口でのサービス券の発行がなくなりました。

平日の6時30分～18時30分(夜間は地下1階時間外受付)の間は、再来受付機または窓口での受付登録後に、外来ホール棟1階に設置された割引認証システムに「受診登録カード」と「駐車券」を読み込ませることにより、駐車料金の割引ができるようになりました。

また、入院退院時に車で来院された方、手術・授乳・集中治療室に入院中患者さんの家族の方は、患者さん1人につき1台分の割引となります。従来同様、入院病棟等の看護師が駐車券に署名の後、1階総合案内(休日・夜間は地下1階時間外受付)で割引手続きをしてください。

あとがき

新病棟の工事が終了し、いよいよ、患者さんや物品のお引越しとなります。30年前、現病棟への引越しを経験した一人としては、感慨深いものがあります。今にも雪が降り出しそうな非常に寒い日で、救急車と担架と車椅子で何往復もして、患者さんたちには大変ご苦労をおかけしたのを今でも記憶しています。

今回の新病棟(ひがし棟)は、個室が多く4人病室もベッドの位置がプライバシーを尊重した作りになっていたりと、療養環境に配慮した特色を持っています。早速、許可が出てから何回か見学ツアーと称し、足を踏み入れさせてもらいました。窓から入り込む光がまぶしいほど明るく綺麗な病室、アイルームです。

それと共に我々職員は、この環境に負けない最善の医療を提供していけるよう日々努力、研鑽を重ねてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

(看護部看護師長・山本美佐江)

亥鼻むかし 4

七天王塚と堀内牛頭天王

千葉大学医学部の敷地内と敷地外にある七天王塚は、大きな木の根元に石碑があります。石碑に書かれた文字は、風化してはつきり読めないものもありますが、「堀内牛頭天王」「七天王」と書かれているのを確認することができます。

千葉氏関係の文獻である「千葉集抜粹」に、「千葉の守護神は曾城大明神、堀内牛頭天皇(王)、結城の神明、御達報の稲荷大明神、千葉寺の龍蔵権現是なり」とありま

「堀内牛頭天皇」となっていますが、昔は同じ音だと違う字で書いてしまうことがあり、「堀内牛頭天皇」は堀内牛頭天王の意味です。五つの守護神は、千葉

ことができます。「七天王」という石碑は、七つの塚が七天王塚と呼んでいたのが由来になっています。「堀内牛頭天王」とは何のことでしょうか?

千葉氏関係の文獻である「千葉集抜粹」に、「千葉の守護神は曾城大明神、堀内牛頭天皇(王)、結城の神明、御達報の稲荷大明神、千葉寺の龍蔵権現是なり」とありま

「堀内牛頭天皇」となっていますが、昔は同じ音だと違う字で書いてしまうことがあり、「堀内牛頭天皇」は堀内牛頭天王の意味です。五つの守護神は、千葉

を守るために町の意義のある方に祀られたと考えられています。

江戸時代に著された妙見実録「千集記」に、堀内牛頭天王の所在地は井の花の内(有)と書かれています。「井の花」とは現在の亥鼻を指していますので、「妙見実録千集記」にある「堀内牛頭天王」は、今の七天王塚のことを表しているのではないかと考えることができます。「堀内」とは、城のお堀の内側を意味していますので、千葉氏にとって大切な神仏として信仰されていたことが想像されます。

(妙見信仰研究者・宮原さつき)



堀内牛頭天皇(王)、七天王の石碑

地域がん診療連携拠点病院に指定されました

2008年2月、千葉大学病院が地域がん診療連携拠点病院に指定されました。最近のわが国におけるがん対策は、「がん対策基本法」、および同法の規定に基づく「がん対策推進基本計画」により、総合的かつ計画的に推進しています。がん対策基本法の基本理念にもあるように、全てのがん患者が全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう、国立がんセンターを中心に、全国に都道府県がん診療連携拠点病院を配置し、さらに各県の2次医療圏に地域がん診療連携拠点病院を整備することが定められています。千葉県の方針により、千葉大学病院は全県で12施設が指定された地域がん診療連携拠点病院の一つとして機能すると同時に、千葉県がんセンター（都道府県がん診療連携拠点病院）と並んで、全県の対応も受け持つことになりました。

千葉大病院ではこの指定を受けて、従来にも増して充実した外科治療、放射線治療、化学療法、緩和ケアを多職種チーム医療で提供すると同時に、千葉県全体のがん対策事業に全面的に協力します。院内の充実だけでなく、地域への広汎な医療機関と連携することにより、千葉県、日本、ひいては世界のがん医療を牽引して行く責務を負うものと自覚しています。

がん対策基本法の理念（2007年4月1日施行）

1. がんに関する総合的な研究を推進する（予防、診断、治療、その他の研究成果を普及、活用、発展させる）
2. 全てのがん患者が科学的知見に基づく適切な医療を受けることができる
3. 本人の意向を十分尊重した治療法選択を可能とする医療提供体制の整備

看護師・助産師募集!

常勤職員・非常勤職員(パート)



Heart,
心のこもった看護と

Skill
先進医療を支える看護技術を

Responsibility
看護職として責任を持って提供することです

私たちが目指すもの

- 資格/看護師・助産師免許を取得されている方
または新卒者で取得見込みのある方
- 待遇/当院規定により優遇します。
- 応募/電話連絡の上履歴書・看護師等の免許証(新卒の方は成績証明書)を郵送下さい。勤務開始日等相談に応じます。

応募またはお問い合わせ先
☎ 043-222-7171
千葉大学医学部附属病院
http://www.ho.chiba-u.ac.jp/recruit.html

総務課人事係 (内線6020)
看護部副看護部長室 (内線6519)

応募 随時受付

East Wing

ひがし棟 施設ガイド

チーム医療

●スタッフステーション
チーム医療の実践現場として、医療に関わるすべてのスタッフが集う場所です。スタッフステーションには、薬剤師も配置し、患者さんに適切な処方説明をします。病棟の中心、エレベーターを降りてすぐ目の前にあります。ガラスを使った壁とカウンターで、エレベーター乗降の方たちの動きにも目を配られるような配慮がされており、また、夜間はステーション内の物音が病室に響かないような工夫がされています。



●未来開拓センター
1階西側に設置した本センターは、基礎的研究によって得られた成果を迅速かつ的確に臨床応用するとともに、再生医療、遺伝子治療その他の先進的な医療技術による診断および治療に関する支援等を行うことを目的としています。臨床部門に設置されたプロジェクトチームと企業とのコーディネートを通じて、製薬メーカーやベンチャー企業との共同研究、また新たな医療開発の促進が期待されます。

●やさらぎの部屋
緩和医療に対応するための個室には、患者さんご家族が付き添い仮眠できるようなスペースに配慮するとともに、患者さん

●屋上ヘリポート
本院は、平成8年10月より千葉県の災害拠点病院として指定されていることもあり、災害および緊急時における患者さんの受け入れ、重症患者さんの病院



社会ニーズ

●感染症病室
本院では、千葉県からの強い要請を受けて、感染症患者の人權を尊重しつつ、良質かつ適切な医療を迅速に提供するため、新病棟3階に感染症病室として5床および感染症患者さん専用のエレベーターを整備しました。



先端医療の発展に伴い、感染症の質の変化、新興・再興感染症の質の変化、新興・再興感染症、SARS・新型インフルエンザなど感染症のグローバル化に伴った危機管理、病院感染管理など感染症を取り巻く環境が大きく変化しているなかで、感染症管理治療部による感染症法に定める2・5類感染症を含めた診療体制を確立し、千葉県における入院受け入れ病院の中核として一層の地域貢献をめざしたいと考えています。

病院の使命は、第一に患者さんから信頼される高度な医療を提供すること、第二に医師・看護師・技師など病院スタッフが緊密に連携した安心、安全のチーム医療を提供すること、第三に患者さんやその家族、またお見舞いに訪れた人々が快適に過ごせる施設、環境を提供することです。新しく誕生する千葉大学医学部附属病院のひがし棟(East Wing)には、それらの使命達成をするために、ハード、ソフト両面にわたる創意工夫が多彩に息づいています。



アメニティ

●個室・4床病室

新病棟ひがし棟の病床構成は、患者さんの居住性やプライバシーを確保するため、個室・4床室に再構成するとともに、一般病室では、分散型トイレの設置と身障者トイレを適切に配置しています。病室はそれぞれ外が眺められる設計になっていて、療養環境に配慮しています。差額病室には、シャワーバスを整備して療養環境の改善を図りました。また、各フロアには、インフォームドコンセントのための専用面談室およびコミュニケーションスペースとしてデイルームを整備しています。



*特別室S(2室・特別室A(3室)・特別室B(12室)・特別室C(3室)
10階特別室(13㎡×45㎡)は、入院生活をより安心・快適に過ごすための専用面談室およびコミュニケーションスペースとしてデイルームを整備しています。

ごしていただけるよう、最上階に20室をご用意しました。特に特別室Sの室内は、木目調のインテリアを施し、落ち着いた静かな雰囲気のある病室で、前室、控え室のほか、バス、洗面所、トイレ(ウォッシュレット)を備えています。またソファ面の充実として、患者さんのプライバシーの確保に十分配慮しながら、ファーストクラスのサービスの提供をめざしています。



〈特別室Sの主な室内設備は次のとおりです〉
簡易キッチン・食器棚・冷蔵庫・オーブンレンジ・浄水器・電気ポット・茶器床頭台・ソファアヘッド・ドレッサー・ハイバックチェア・テレビ(2台)・FAX複合機・電話・ビデオデッキ・ミニコンボ・ヘッドライヤーなど

●展望レストラン(ヴァンセーヌ)
千葉市内の眺望が楽しめる11階展望レストラン「ヴァンセーヌ」では、各種洋風・和風定食をはじめ、サンドウィッチ、ピザ、スイーツ類などの軽食もご用意しています。また、ドリンクは営業時間(午前10時00分～



午後5時30分)を通してバイキング形式とし、お体の不自由なお客様にはスタッフが対応させていただきます。そのほか、特別室へのデリバリーサービス(事前予約)としてのコース料理では、旬の食材を基本に、お客様とご相談のうえ、ご希望に合わせた料理をお届けします。(平成20年5月1日オープン)



●コーヒーショップ

シアトル発祥のスペシャルティコーヒーショップ
11階展望レストランに併設して、総席数19席の図書閲覧コーナーを新設して、書籍1100冊、雑誌20誌、新聞5紙などを備えて自由に閲覧できるほか、関病記コーナーを設けて、関連書籍300冊程度を揃える予定です。また、利用時間を定めての無料サービスとして、インターネット用パソコン2台を用意しています。

今回の出店においては、食品類はもちろん医療品、医療雑誌、雑誌など、千葉大学病院内ならではの品々をとり揃えています。また、バリアフリー対応として段差をつくらず、車椅子ご利用のお客様に配慮した通りやすい広い通路スペースの確保や商品が取りやすいようにオープン冷ケースを備えた設計としています。(平成20年4月1日オープン)



●コンビニエンスストア

ルティール「am pm」は、創業以来、最高の一杯を提供することを一番に考え、豆、焙煎、バリスタ、フードなど常に最高のものを追求し、千葉大学病院でも同様のサービスを心がけています。また、南側にはウッドデッキを設け、好天の日には外気に触れながらコーヒーを味わうことができます。(平成20年4月1日オープン)